

神奈川同窓会 第29回通常総会

特別講演会

日時：5月18日（金）15:00～16:30

場所：第3講義室

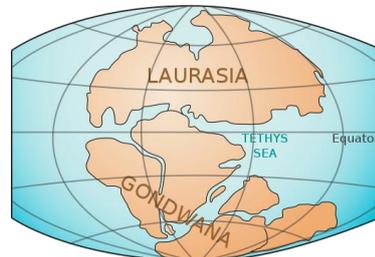
講師：有馬 眞先生

横浜国立大学名誉教授、放送大学客員教授

演題：ゴンドワナ大陸の誕生を探る
—ナミブ砂漠の地質調査—



有馬 眞先生



TRIASSIC
200 million years ago

(2億年前の世界図)

南半球を中心に広がっていたゴンドワナ大陸

【講演要旨】

過去に存在したゴンドワナ大陸は、現在のアフリカ、南アメリカ、インド、南極、オーストラリアなどを含んだ巨大な大陸である。

ゴンドワナ大陸はどのように誕生したのであろうか。

アフリカ大陸には、クラトンと呼ばれる25億年前に形成された古い地塊を取り巻くように、より若い地質帯（変動帯とよばれる）が帯状に配列している。このような変動帯の地質調査により、ゴンドワナ大陸が、プレート移動に伴ういくつかの小大陸地塊の度重なる衝突によって約5億5千万年前に誕生したことが明らかになってきた。

ナミビア共和国ナミブ砂漠地域に分布するダマラ変動帯は、約5億5千万年前にクラトンの衝突により形成された変動帯で、延長350KMにわたり中央海嶺玄武岩が広く露出している。

今回の講演では、このダマラ変動帯の地質調査の様子を、スライドを用いてお話する。

《講師略歴》

1972年 北海道大学理学部地質学鉱物学科卒業、

1977年 北海道大学理学部研究科博士課程修了、

1978-86年 カナダ・ウエスタンオンタリオ大学で岩石学を研究し、帰国後、横浜国立大学で地球科学の教育研究を続ける。

2014年3月 定年退職。

神奈川同窓会